

NY マーケットレポート (2016 年 1 月 15 日)

NY 市場では、序盤に発表されたニューヨーク連銀指数が予想を大きく下回る結果となったことや、小売売上高、鉱工業生産が冴えない結果となったことから、ドルが主要通貨に対して軟調な動きとなった。また、米ダウ平均株価が一時前日比で 536 ドル安まで下落したことを受けて、投資家のリスク回避の動きが強まり、安全資産とされる円を買う動きが優勢となった。ドル/円は昨年 8 月 24 日以来の安値を付け、ポンド円は 2014 年 2 月以来の安値を付ける動きとなった。また、原油価格など、資源価格の下落も影響し、豪ドル/円は 2012 年 10 月以来の安値を付ける動きとなった。終盤には、株価が下げ幅を縮小したことから、ドル円・クロス円は引けにかけてやや値を戻す動きとなった。

2016/1/15 (金)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	117.64	118.28	117.57
EUR/JPY	127.85	128.42	127.81
GBP/JPY	169.24	170.58	169.01
AUD/JPY	81.55	82.81	81.30
EUR/USD	1.0870	1.0891	1.0855

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	117.78	117.24
EUR/JPY	128.15	127.82
GBP/JPY	169.50	168.00
AUD/JPY	81.66	80.52
EUR/USD	1.0920	1.0863

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	17147.11	-93.84
ハンセン指数	19520.77	-296.64
上海総合	2900.97	-106.68
韓国総合指数	1878.87	-21.14
豪ASX200	4892.80	-16.58
インドSENSEX指数	24455.04	-317.93
シンガポールST指数	2630.76	-13.81

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	5804.10	-114.13
仏CAC40	4210.16	-102.73
独DAX	9545.27	-248.93
ST欧州600	329.84	-9.58
西IBEX35指数	8543.60	-244.10
伊FTSE MIB指数	19195.94	-607.47
南ア 全株指数	46960.37	-737.16

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	117.06	117.35	116.52
EUR/JPY	127.69	128.24	127.61
GBP/JPY	166.91	168.34	166.26
AUD/JPY	80.39	80.87	79.57
NZD/JPY	75.67	75.74	74.62
EUR/USD	1.0909	1.0985	1.0908
AUD/USD	0.6868	0.6905	0.6827

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	15988.08	-390.97
S&P500	1880.33	-41.51
NASDAQ	4488.42	-126.58
日経225 (CME)	16795	-700
🇨🇦 トロント総合	12073.46	-265.57
🇧🇷 ボルサ指数	40847.70	-505.05
🇧🇷 ボベスバ指数	38569.13	-930.98

1/18 経済指標スケジュール

09:01 【英国】1月ライトムーブ住宅価格
 09:30 【オーストラリア】12月新車販売台数
 09:30 【シンガポール】12月輸出[除石油]
 09:30 【シンガポール】12月電子機器輸出
 11:00 【ニュージーランド】12月非居住者国債保有率
 13:30 【日本】11月第三次産業活動指数
 13:30 【日本】11月鉱工業生産
 13:30 【日本】11月稼働率指数
 14:30 【日本】12月全国百貨店売上高

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1090.70	+17.10
NY 原油	29.42	-1.78
CMEコーン	363.25	+5.25
CBOT 大豆	879.00	-3.25

米国債利回り	本日	前日
2年値	0.84%	0.90%
3年値	1.08%	1.14%
5年値	1.45%	1.52%
7年値	1.80%	1.86%
10年値	2.03%	2.09%
30年値	2.81%	2.89%

1/18 主要会議・講演・その他予定

- ・黒田日銀総裁 挨拶
- ・欧州議会本会議 (～21日)
- ・米市場休場 (キング牧師の記念日)

(出所:SBILM)



22 : 00

《企業決算》

米ディーア

第4四半期の1株利益は1.03ドル、(予想1.02ドル)

米シティ

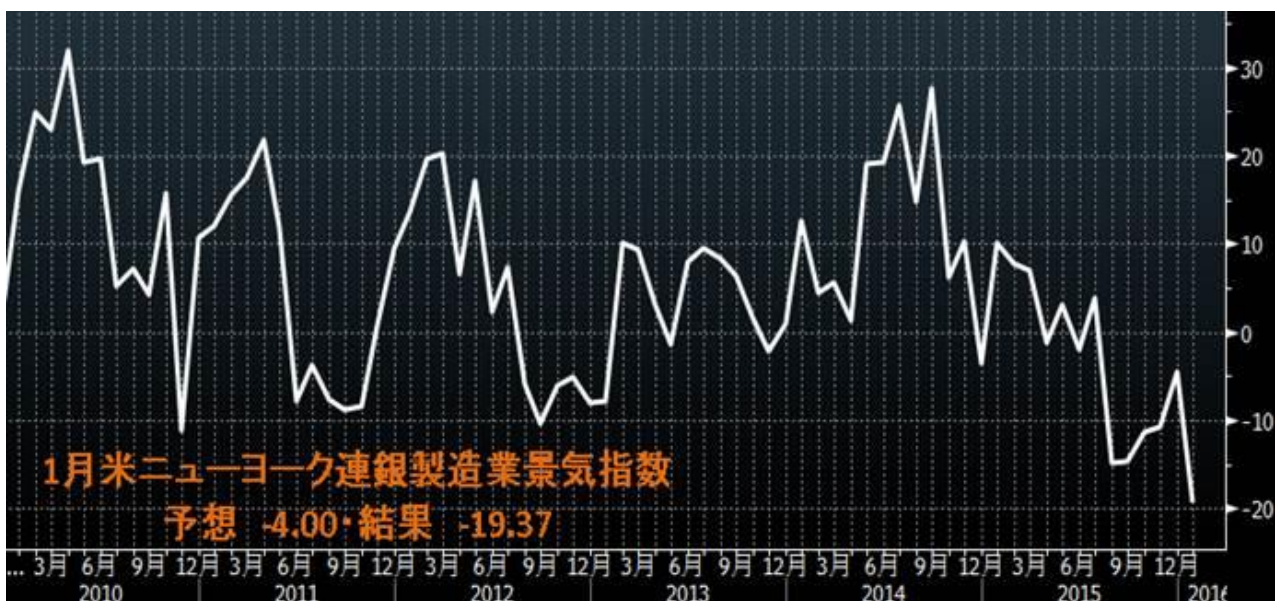
第4四半期の一部項目除く調整後1株利益1.06ドル(予想1.05ドル)

22 : 30

《経済指標の結果》

1月米ニューヨーク連銀製造業景気指数 -19.37 (予想 -4.00・前回 -6.21)

前回発表の-4.59から-6.21に修正



経済指標データ

《NY連銀製造業景気指数》

現状)

	1月	12月	11月	10月	9月	8月
業況	-19.37	-6.21	-10.74	-11.36	-14.67	-14.92
仕入価格	16.00	4.04	4.55	0.94	4.12	7.27
販売価格	4.00	-4.04	-4.55	-8.49	5.15	0.91
新規受注	-23.54	-6.18	-11.82	-18.91	-12.91	-15.70
出荷	-14.39	4.62	-4.10	-13.61	-7.98	-13.79
在庫	-6.00	-12.12	-17.27	-7.55	-18.56	-17.27
雇用者数	-13.00	-16.16	-7.27	-8.49	-6.19	1.82

6ヵ月先の見通し)

	1月	12月	11月	10月	9月	8月
業況	9.51	35.65	20.33	23.36	23.21	33.64
仕入価格	31.00	27.27	29.09	27.36	28.87	34.55
販売価格	12.00	20.20	11.82	7.55	7.22	10.91
新規受注	12.18	25.37	20.82	24.00	23.89	29.36
出荷	16.97	32.34	21.07	24.63	25.30	32.97
在庫	1.00	-1.01	1.82	-6.60	-9.28	-13.64
雇用者数	4.00	15.15	16.36	10.38	7.22	3.64

同指標はゼロが景況の分岐を示す

22:30

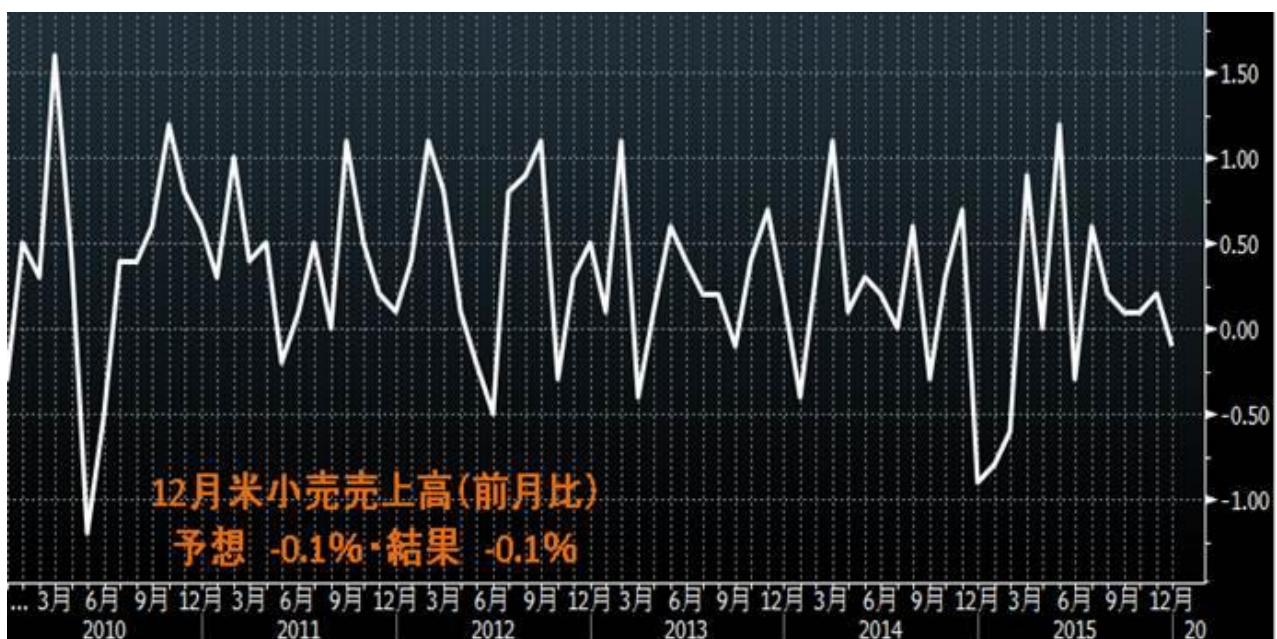
《経済指標の結果》

12月米小売売上高(前月比) -0.1%(予想 -0.1%・前回 0.4%)

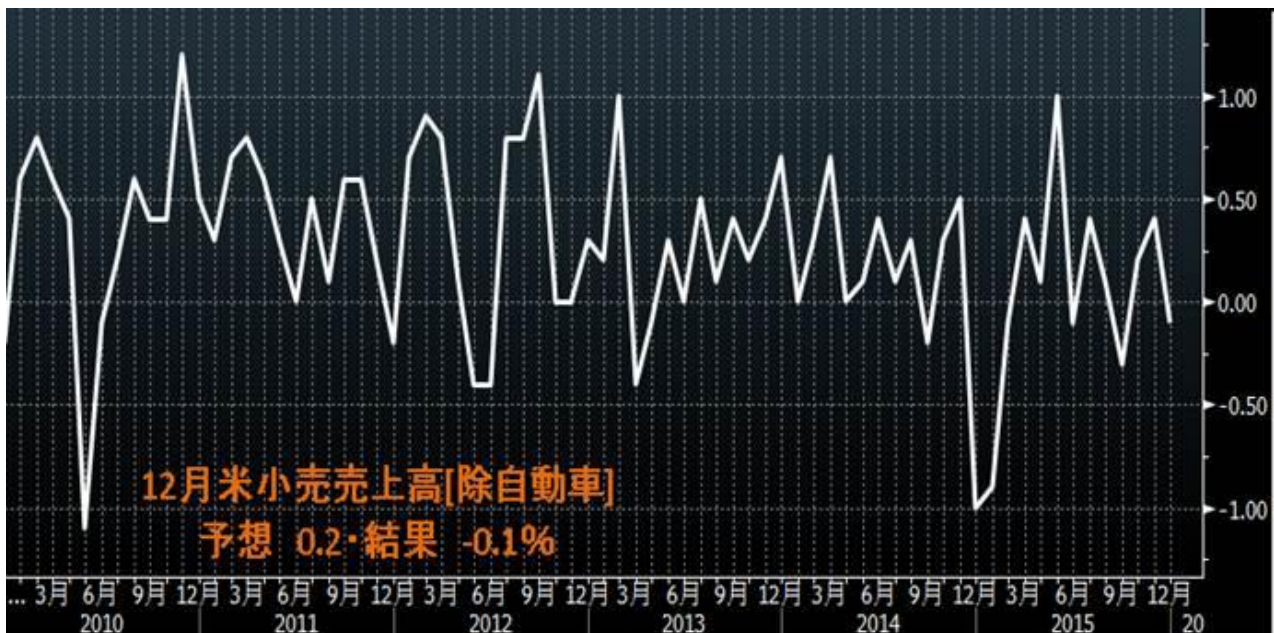
前回発表の0.2%から0.4%に修正

12月米小売売上高[除自動車] -0.1%(予想 0.2%・前回 0.3%)

前回発表の0.4%から0.3%に修正



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

指標結果データ

《米小売売上高》

	12月	11月	10月	9月	8月	7月	前年同月
小売売上高	-0.1	0.4	0.0	-0.1	0.0	0.8	2.8
除く自動車	-0.1	0.3	0.1	-0.5	-0.1	0.6	2.0
自動車・部品	0.0	0.5	-0.3	1.4	0.3	1.5	6.1
建設資材等	0.7	0.1	1.0	-0.5	-1.1	3.7	4.2
食品・飲料	-0.3	0.7	-0.2	-0.3	0.4	0.0	1.2
総合小売店	-1.0	-0.1	-0.5	0.4	0.4	0.2	0.1
大規模小売店	0.3	-0.3	0.1	-1.1	0.0	-0.2	-2.1
その他小売店	-2.0	2.3	-0.1	-2.8	0.7	1.3	1.9

(前月比%)

22 : 30

《 経済指標の結果 》

12月米生産者物価指数(前月比) -0.2% (予想 -0.2%・前回 0.3%)

12月米生産者物価指数[コア] 0.1% (予想 0.1%・前回 0.3%)

12月米生産者物価指数(前年比) -1.0% (予想 -1.0%・前回 -1.1%)

12月米生産者物価指数[コア] 0.3% (予想 0.3%・前回 0.5%)



(出所：ブルームバーグ)

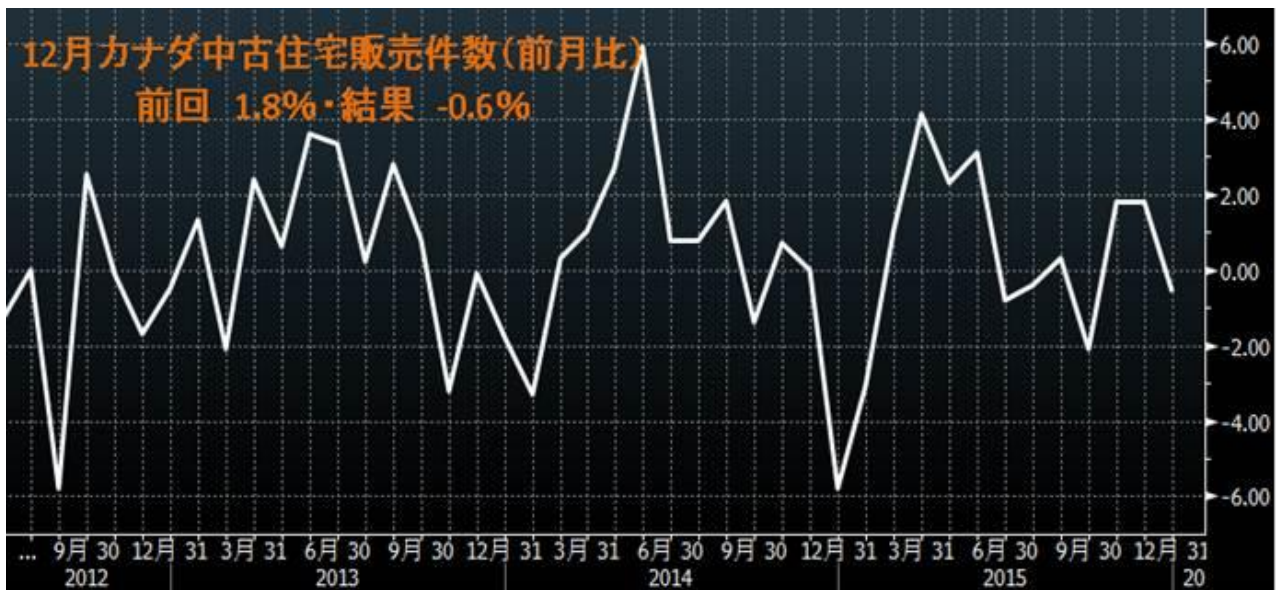


(出所：ブルームバーグ)

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

12月カナダ中古住宅販売件数(前月比) -0.6%(前回 1.8%)



23 : 05

《 要人発言 》

ダドリー・NY連銀総裁

- ・「景気見通しは 12 月 FOMC 以降あまり変わっていない」
- ・「利上げは非常に漸進的に実施され、データ次第」
- ・「インフレ期待の低下は懸念材料、景気が弱含めば」
- ・「コアインフレはかなり安定、エネルギー価格下落にも」
- ・「景気が軟化すれば、マイナス金利を検討する可能性も」

23 : 15

《 経済指標の結果 》

12 月米鉱工業生産（前月比） -0.4%（予想 -0.2%・前回 -0.9%）
 前回発表の-0.6%から-0.9%に修正

12 月米設備稼働率 76.5%（予想 76.8%・前回 76.9%）
 前回発表の 77.0%から 76.9%に修正



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

23 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16046.57	-332.48
ナスダック	4474.62	-140.38

(出所：SBILM)

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

1 月ミシガン大学消費者信頼感指数 93.3 (予想 92.9・前回 92.6)



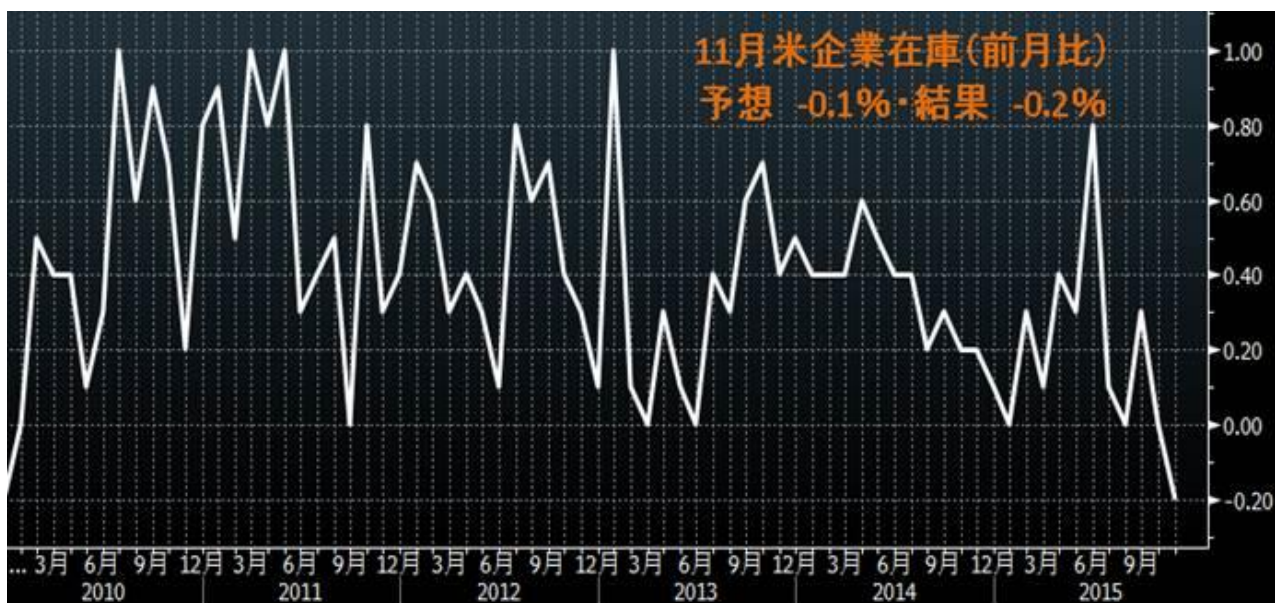
(出所：ブルームバーグ)

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

11 月米企業在庫 (前月比) -0.2% (予想 -0.1%・前回 -0.1%)

発表の 0.0% から -0.1% に修正



(出所：ブルームバーグ)

経済指標データ

《ミシガン大学消費者信頼感指数》

	1月速報	12月	11月	10月	9月	8月	7月
消費者信頼感	93.3	92.6	91.3	90.0	87.2	91.9	93.1
景気現況指数	105.1	108.1	104.3	102.3	101.2	105.1	107.2
消費者期待指数	85.7	82.7	82.9	82.1	78.2	83.4	84.1
1年インフレ	2.4	2.6	2.7	2.7	2.8	2.8	2.8
5年インフレ	2.7	2.6	2.6	2.5	2.7	2.7	2.8

指標結果データ

《米企業在庫》

	11月	10月	9月	8月	7月	6月	前年同月比
企業在庫	-0.2	-0.1	0.1	0.1	0.0	0.7	1.6
製造業	-0.3	-0.2	-0.5	-0.4	-0.3	0.3	-2.3
小売業	0.2	0.1	0.8	0.5	0.7	1.0	5.5
卸売業	-0.3	-0.3	0.2	0.3	-0.3	0.7	2.2

	11月	10月	9月	8月	7月	6月	前年同月比
企業売上	-0.2	-0.2	0.0	-0.6	0.1	0.3	-2.8
製造業	0.2	-0.7	-0.3	-0.9	-0.2	0.6	-3.9
小売業	0.3	-0.1	-0.1	0.0	0.8	-0.1	0.9
卸売業	-1.0	-0.2	0.5	-0.9	-0.3	0.4	-4.6

0:35

《NY 株式市場 序盤》

序盤の株式市場は、中国経済に対する不安拡大や原油安を嫌気して、主要株価は軒並み大幅下落となった。また、日本を含む大半のアジア市場や欧州の主要市場でも株価は軒並み下落したことも影響した。ダウ平均株価は、序盤から大きく下落し、一時 435 ドル安まで下落する動きとなった。

《経済指標のポイント》

(1) 12月の米小売売上高は、前月比-0.1%の4480億8600万ドルとなり、市場予想を下回る結果となった。前年同月比は+2.2%となった。ガソリンスタンドの売り上げの減少が続いたほか、自動車関連の販売が鈍かったことが影響した。

①品目・業種別では、自動車・同部品が横ばいだったほか、電子・家電は-0.2%、ガソリンスタンドが-1.1%、服飾が-0.9%、食品・飲料が-0.3%、総合小売りが-1.0%。一方、非店舗小売りは+0.3%、外食は+0.8%となった。

②変動が大きい自動車・同部品を除く売上高は-0.1%と市場予想の+0.2%に反し減少、前年同月比では+1.2%となった。

③同時に発表された2015年の小売売上高は、前年比+2.1%の5兆3188億800万ドルとなり、前年比でマイナスだった2009年以降でもっとも小さな伸び率となった。

(2) 12月の米生産者物価指数は、モノとサービスを合わせた総合で前月比-0.2%となり、2ヵ月ぶりのマイナスとなった。前年同月比では-1.0%となり、前年比、前年同月比とも市場予想と一致した。11月に4ヵ月ぶりのプラスに転じたが、12月はガソリンなどエネルギー価格の大幅な低下で再びマイナスとなった。モノの需要がマイナスとなる一方、サービス需要はプラスだった。

①変動の激しい食品とエネルギーを除いたベースの総合指数は、前月比+0.1%、前年同月比では+0.3%となった。食品とエネルギー、貿易サービスを除いたベースでは、前月比+0.2%、前年同月比は+0.3%。

②品目別では、エネルギーが前月比-3.4%、食品が-1.3%、サービスは+0.1%となった。サービスのうち、貿易と輸送・倉庫はそれぞれ-0.4%だった。

(3) 12月の米鉱工業生産指数は、前月比-0.4%となり、市場予想の-0.2%を下回る結果となった。例年より気温が高かったことで暖房需要が弱かったことから、電力・ガスが低下となったことが影響した。

①鉱業が-0.8%と4ヵ月連続のマイナス、電力・ガスが-2.0%で3ヵ月連続の低下、製造業は-0.1%だった。製造業では、主力の自動車・同部品が-1.7%、一般機械が-0.5%、石油・石炭製品が-1.2%。一方、電子機器・家電は+2.3%となった。

②11月の設備稼働率は、前月比0.4ポイント低下の76.5%となり、市場予想の76.8%を下回った。

(4) 1月の米ミシガン大消費者信頼感指数の速報値は、市場予想の92.9を上回る93.3となり、昨年12月の確報値から0.7ポイント上昇し、昨年6月以来7ヵ月ぶりの高水準となった。現状指数は105.1と昨年12月確報値から3.0ポイント低下、期待指数は85.7と昨年12月確報値から3.0ポイント上昇となった。また、1年後のインフレ期待は2.4%と昨年12月確報値から0.2ポイント低下した。

(5) 11月の米企業在庫高は、前月比-0.2%の1兆8097億6800万ドルと、市場予想の-0.1%を下回る結果となり、2011年9月以来4年2ヵ月ぶりの大きな下落率となった。業種別は、製造業が-0.3%、卸売業が-0.3%、小売業は+0.2%。

①自動車・同部品を除く小売業も+0.2%となり、家具・家電が+1.4%、建材・園芸が+0.4%、服飾が+0.2%。一方、総合小売りは-0.1%、百貨店は-0.5%となり、自動車・同部品は横ばいだった。

②企業売上高は、前月比-0.2%の1兆3134億5000万ドル、前年同月比では-2.8%となった。業種別では、卸売業が-1.0%、製造業は+0.2%、小売業は+0.3%となった。

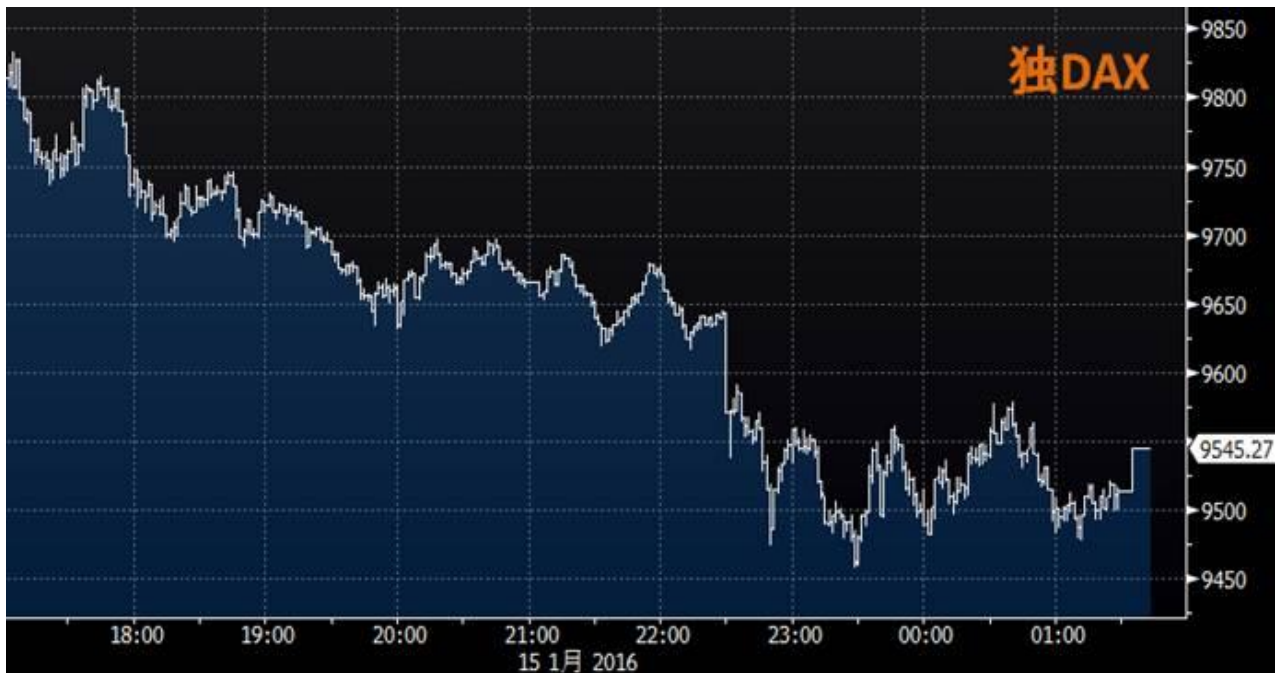
③売上高に対する在庫の比率は、前月から横ばいの1.38だった。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	5804.10	-114.13
仏 CAC40	4210.16	-102.73
独 DAX	9545.27	-248.93
ストック欧州 600 指数	329.84	-9.58
ユーロファースト 300 指数	1297.10	-37.26
スペイン IBEX35 指数	8543.60	-244.10
イタリア FTSE MIB 指数	19195.94	-607.47
南ア アフリカ全株指数	46960.37	-737.16

(出所:SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、中国経済に対する警戒感や原油安を背景に、投資家はリスク回避の動きが強まり、主要株価は大幅続落となった。



(出所：ブルームバーグ)

1 : 45

《 要人発言 》

ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁

- ・「インフレ率は今後数年以内に 2%に戻ると予想」
- ・「向かい風は中国の景気減速やドル高など」
- ・「経済は常に FOMC の予想通り展開するとは限らない」
- ・「金利正常化には 3 年かかる可能性も」

1 : 50

ポーランドの格付けを「BBB+」に引き下げ、見通しネガティブ。

アイスランド格付け「BBB+」に引き上げ、見通しステイブル～米格付け会社

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、中国経済の先行き懸念や原油安を背景とした世界的な株安で投資家がリスク回避の姿勢を強め、安全資産とされる米国債の買いが先行した。また、12月の米小売売上高が市場予想より悪い内容だったことも、逃避買いを促した。

午前の利回りは、30年債が 2.82%（前日 2.89%）、10年債が 2.02%（2.09%）、7年債が 1.78%（1.86%）、5年債が 1.44%（1.51%）、3年債が 1.07%（1.14%）、2年債が 0.84%（0.90%）。

2 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 15969.69 (-409.36)、S&P500 1873.70 (-48.14) ナスダック 4462.89 (-152.11)

4 : 15

《 要人発言 》

ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁

- ・「続いている商品相場の下落を考慮する必要がある」
- ・「FOMC は市場の期待に巻き込まれるべきではない」
- ・「相場の日々の動きはさほど懸念していない」
- ・「FOMC にとって大きな問題はインフレだ」

4 : 30

NY 金は、中心限月が前日比 17.10 ドル高の 1 オンス=1090.70 ドルで取引を終了した。

5 : 15

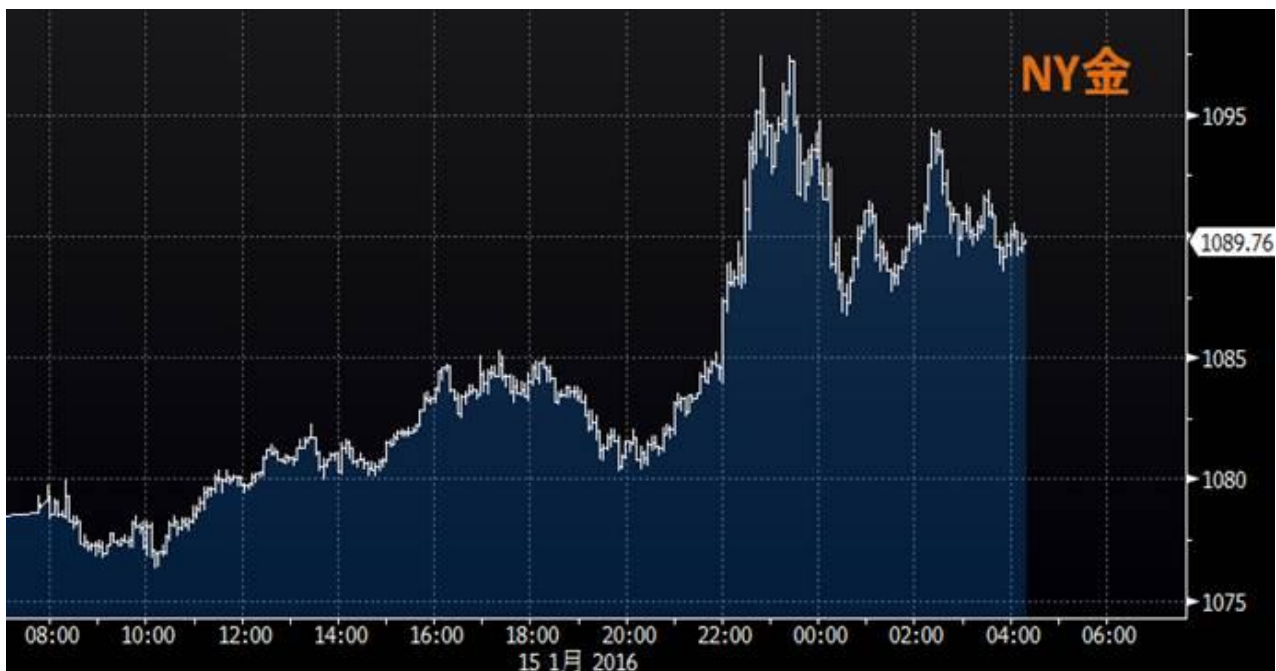
NY 原油は、中心限月が前日比 1.78 ドル安の 1 バレル=29.42 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1090.70	+17.10
NY 原油	29.42	-1.78

(出所: SBILM)

◀ NY 金市場 ▶

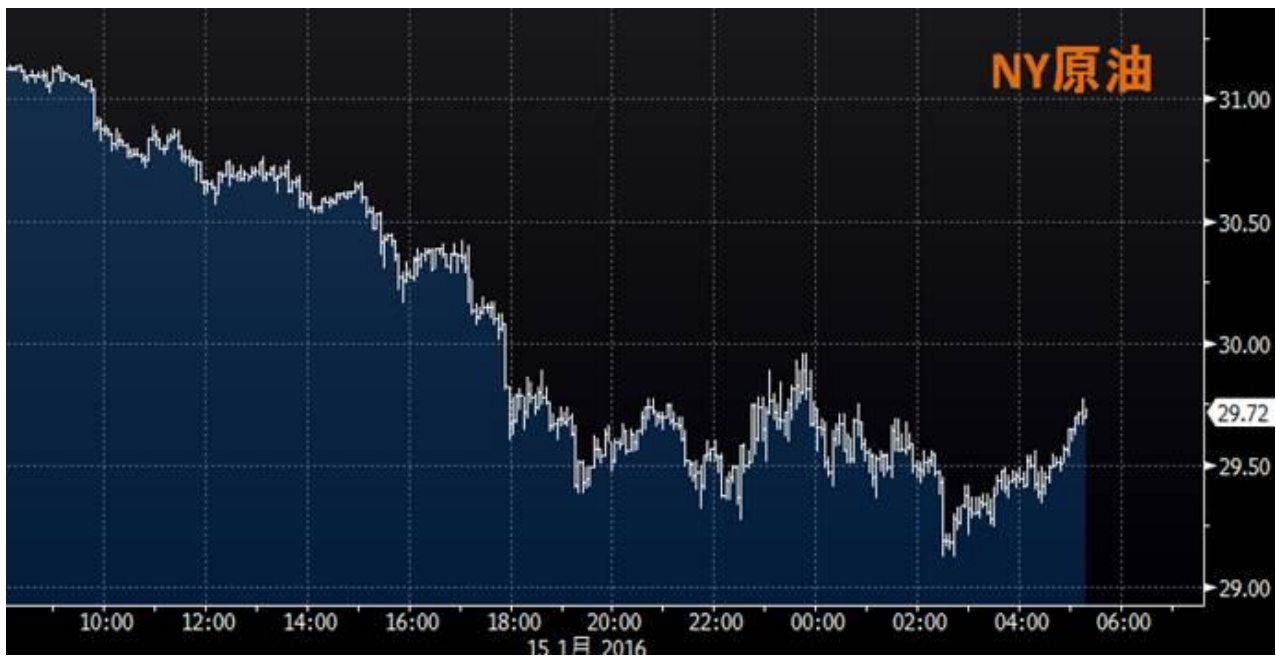
NY 金は、中国経済への懸念や原油価格の下落を背景とした世界的な株安で投資家のリスク回避志向が強まり、比較的安全な資産とされる金を買われた。また、小売売上高などの経済指標がさえなかったことも圧迫材料となった。



(出所: ブルームバーグ)

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中国経済の減速懸念に加え、欧米による対イラン制裁解除に伴うイラン産原油の輸出増加で、供給過剰状態が長期化するとの見方が強まったことも圧迫要因となった。そして、終値ベースで 30 ドル台を割り込んだのは 2003 年 12 月以来、約 12 年 1 カ月ぶりとなった。



(出所：ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	15988.08	-390.97	16354.33	15842.11
S&P500 種	1880.29	-41.55	1916.68	1857.83
ナスダック	4488.42	-126.58	4520.45	4419.41

(出所：SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、中国経済に対する不安拡大や原油安を嫌気して、主要株価は軒並み大幅下落となった。また、日本を含む大半のアジア市場や欧州の主要市場でも株価は軒並み下落したことも影響した。ダウ平均株価は、序盤から大きく下落し、一時 536 ドル安まで下落する動きとなった。ただ、終盤にはやや値を戻す動きとなった。



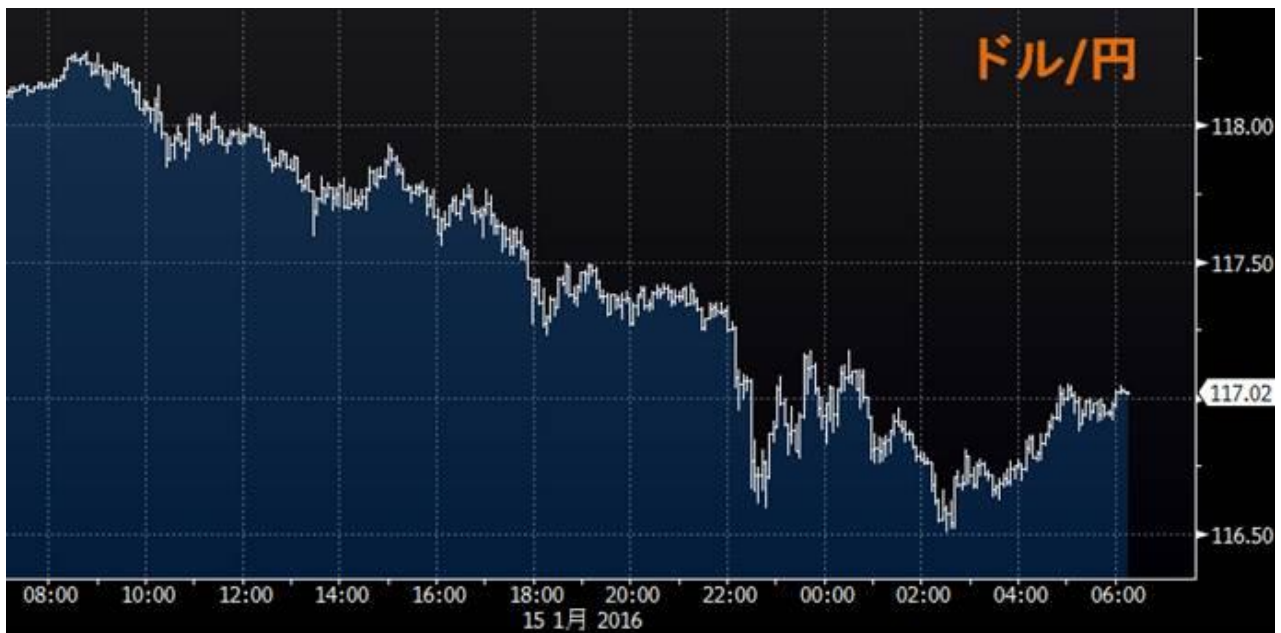
(出所：ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	117.06	117.35	116.52
EUR/JPY	127.69	128.24	127.61
GBP/JPY	166.91	168.34	166.26
AUD/JPY	80.39	80.87	79.57
NZD/JPY	75.67	75.74	74.62
EUR/USD	1.0909	1.0985	1.0908
AUD/USD	0.6868	0.6905	0.6827

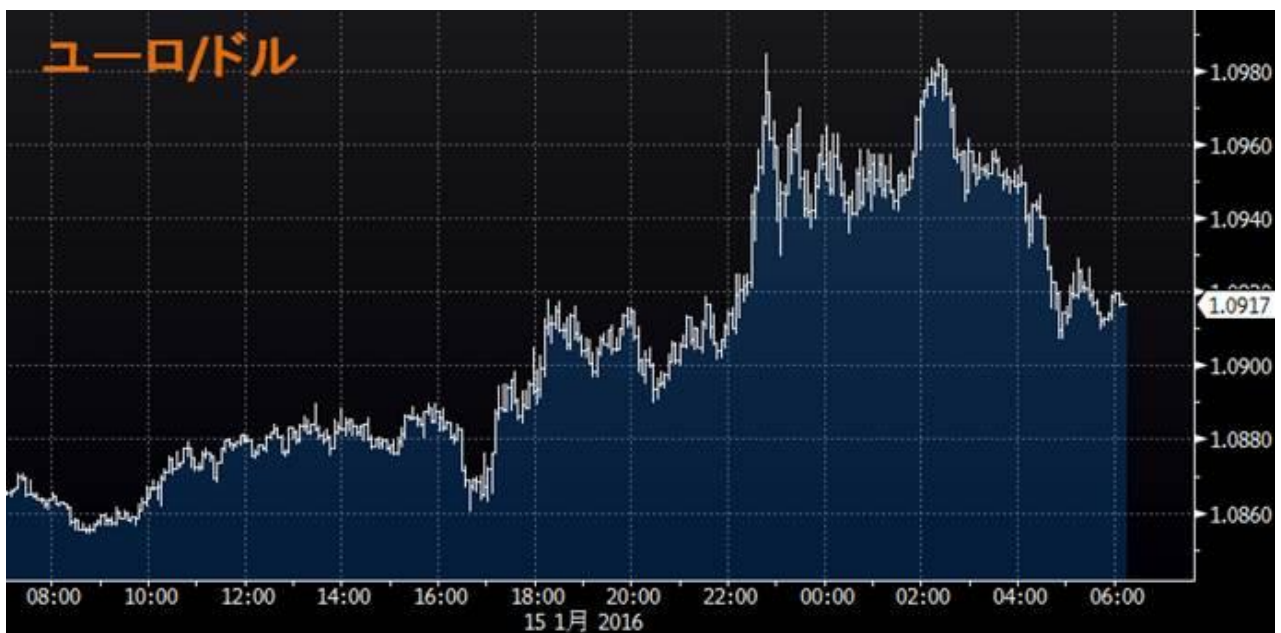
(出所：SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米経済指標が冴えない結果となったことや、欧米の株価が大幅下落となったこともあり、ドル円・クロス円は、軟調な動きとなった。特に、ドル/円は8月24日以来の安値を付ける動きとなった。終盤には、株価が下げ幅を縮小したこともあり、やや値を戻す動きも見られた。



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

《 今後のテクニカルポイント 》

長期チャートによるサイクル分析（ユーロ/ドル）



（出所：ブルームバーグ）

ユーロ/ドルにおいては、15年7ヵ月サイクルを見ることができる。この15年7ヵ月サイクルにおいては、前回のボトムが2000年10月だったことから、次のボトムは2016年5月（±6ヵ月）と予測される。また、15年7ヵ月サイクルの中に上昇・下降の動きが明確になっており、1985年のボトムから1992年9月のトップまでは7年6ヵ月、2000年10月のボトムから2008年7月のトップまでは7年9ヵ月と、上昇サイクルはほぼ一致している。そして、トップからの下降の8.1ヵ月サイクルも一致するならば、2016年8月（±6ヵ月）がボトムと予測できる。このことから、長期サイクル分析におけるユーロドルの次のボトムは、2016年5月～2016年8月（±6ヵ月）と予測できる。

そして、前回の15年7ヵ月サイクル上のトップからボトムまでは44.8%の下落となっており、これを今回の15年7ヵ月サイクルに当てはめると0.8852（トップは2008年7月の1.6038）と予測できる。また、トレンドライン上も重要なポイントとなり、2016年5月は0.9999～1.0009、2016年8月は1.0029～1.0038となることから、この辺りのポイントにも注目したい。

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。